

## 第2学年\*組 保健体育科（体育分野）学習指導案

指導者 柴 奏子

### 1 単元名 球技（バトミントン）

#### 2 目標

- 状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作りだす攻防ができるようにする。  
(技能)
- 主体的に取り組み、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、仲間と連携した動きを高めたゲーム展開ができるようとする。  
(態度)
- 技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解しチームや自己の課題に応じた運動を継続するための取り組みを工夫できるようとする。  
(知識、思考・判断)

#### 3 指導に当たって（男子\*名、女子\*名、計\*名）

本クラスは、部活動に所属している生徒や体育が好きな生徒が多いため、非常に活発かつ積極的に活動するクラスである。また、バドミントンの技能は高い生徒が多く、ラケットにシャトルが当たらないというような場面はあまり見受けられない。本年度はスキルテストとダブルスによるゲームを中心に進め、基本技能の習得と空間を作りだす攻防ができるようにしていきたい。さらに、仲間とのコミュニケーションを大切にさせ、安全面に注意し怪我に繋がらないよう配慮したい。

#### 4 単元の評価規準

	関心・意欲・態度	思考・判断	運動の技能	知識・理解
単元の評価規準	<ul style="list-style-type: none"> <li>●球技の学習に主体的に取り組もうとしている。</li> <li>●フェアなプレイを大切にしようとしている。</li> <li>・作戦などについての話し合いに貢献しようとしている。</li> <li>●互いに助け合い高め合おうとしている。</li> <li>●健康・安全を確保している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●これまでの学習を踏まえて、チームが目指す目標に応じたチームや自己の課題を設定している。           <ul style="list-style-type: none"> <li>・提供された作戦や戦術から自己のチームや相手チームの特徴を踏まえた作戦や戦術を選んでいる。</li> </ul> </li> <li>●課題解決の過程を踏まえて、取り組んできたチームや自己の目標と成果を検証し、課題を見直している。           <ul style="list-style-type: none"> <li>・球技を継続して楽しむための自己に適した関わり方を見付けている。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●空間を作りだすなどの攻防を展開するための状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●技術などの名称や行い方について、学習した具体例を挙げている。</li> <li>・球技に関連した体力の高め方について、学習した具体例を挙げている。</li> <li>●競技会の仕方について、学習した具体例を挙げている。</li> </ul>

#### 学習活動に即した評価規準

	関心・意欲・態度	思考・判断	運動の技能	知識・理解
学習活動に即した評価規準	<ul style="list-style-type: none"> <li>①球技の授業に積極的かつ意欲的に取り組もうとしている。</li> <li>②用具の準備・片付けに積極的に取り組んでいる。</li> <li>③ルールを守って取り組んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①自己やチームが目指す目標や課題を設定している。</li> <li>②設定した目標や課題に対し、成果が表れたか検証し、目標や課題の見直しをしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①相手のいない空間を瞬時に判断し、その空間に打とうとしている。</li> <li>②仲間と連動してネット付近でボールの侵入を防いだり、打ち返したりできる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①技術の名称や練習方法について具体例を挙げられる。</li> <li>②ルールを理解したうえで、競技会の仕方について具体例を挙げられる。</li> </ul>

## 5 指導と評価計画（12時間扱い）

	学習のねらい・活動	評価計画			
		関	思	技	知
はじ め 50 分 × 1	<p>○バドミントンの学習準備をする。</p> <p>1 オリエンテーションを通して、準備・片付けの仕方を知る 2 学習の約束事(ルールやマナーなど)を確認する。</p>				(1) (2)
な か 1 50 分 × 3	<p>ねらい①</p> <p>○基本的な動作を身につけてゲームを楽しむ</p> <p>1 スキルテストの練習 ・ラリー練習 ・一人打ち ・シャトル拾い 2 新しいショットの練習 ・サービス ・クリア ・スマッシュ 3 新しいショットの紹介 ・ヘアピン ・ドロップ</p> <p>ショット練習後、ダブルスゲーム（リーグ戦）を行う</p>	(1)		(1)	
な か 2 50 分 × 4	<p>ねらい②</p> <p>○ルールを理解し、チームで意思疎通しながらゲームを楽しむ</p> <p>1 ダブルスのルール確認 2 グループ練習 ・クリア、スマッシュ、ドライブ練習 3 ミニゲーム ・ラリー形式で相手のいないスペースやさまざまなショットを選択しつつ何回続けられるか 4 ダブルス リーグ戦</p>	(1)	(1)	(1)	(2)
ま と め 50 分 × 4	<p>○これまで学習した技術を活かし、攻防を試しながらゲームを楽しむ</p> <p>1 ダブルス リーグ戦 2 3 シングルス リーグ戦 4 ・審判法</p>	(3)	(1) (2) (1) (2)	(1)	(2)

## 6 本時の学習

(1) 本時のねらい

○これまで学習した技術を活かし,攻防を試しながらゲームを楽しむことができる。

(2) 展開 (9／12)

	学習内容・活動	指導上の留意点	評価の観点, 方法
はじめ 10分	1 用具の準備 2 出席確認・本時のねらいと学習内容の確認 3 準備体操（曲に合わせて行う）	・協力して準備をするよう促す。 ・リズミカルに体を動かすよう助言する。	<関心・意欲・態度②> 用具の準備・片付けに積極的に取り組んでいる。
<b>○ これまで学習した技術を活かし,攻防を試しながらゲームを楽しもう</b>			
なか 30分	4 ショットの種類の確認をし,空間を作り出す(パターン練習) ・クリア ・ドロップ ・ヘアピン	・教員または経験者による見本を示す。（模範演技） ・打点の位置や打つフォームがよく見えるよう演技者側のコート付近に座るように指示をする。  ・この3種類を連続して打つことで前後に空間ができるのを理解できるよう助言する。 ◇ラケットに当たる瞬間までシャトルを見るよう促す。	
	5 ショットの練習 ・1人連続3本交代×3set	・各グループ：打つ人1人, シャトル出し1人とし, 他の生徒はコート外でショットを打つときどこに空間がつくられるのか観察するよう助言する。	<運動の技能①> ・相手のいない空間を瞬時に判断し, その空間に打とうとしている。 (観察)
	6 ミニゲーム ・ショット練習をしたグループ内でシングルスのラリーを行う	・練習したショットを使って空間を作り出すように指示をする。 ・相手が取れないところに打つことを意識させる。また, 打たれた側は, そのショットを取れるように動くことを促す。	<知識・理解②> ・競技者がルールを理解してゲームを進めている。 (観察)
	7 ダブルスゲーム ・前回までのリーグ戦の続きから始める	・シングルスよりスペースが作られにくいので相手のショットや相手の立ち位置を見て打つよう声掛けをする。	
まとめ 10分	7 片付け 8 ショットの確認 9 本時のふり返りと次時の予告 10 挨拶	・全員で協力し, 素早く安全に片付けを行うよう促す。 ・生徒に本日の内容について質問し, 授業の振り返りをする。  ・本時の成果と次時に活かせるような助言をする。	

◇は努力を要する状況にある生徒への手だて